

日時：平成24年4月14（土）9：40～16：00

場所：アスト津 交流スペース 6番

参加代表委員数：16名（推薦委員：3名）

1. 会員の動向会員数 109名→107名

100名は会費納（24年度会員証を分会長より会員へ）、未納7名

桑四 30名→28名（赤井由紀子氏→奈良県支部へ、渥美知香氏退会）

鈴鹿 23名、津 33名（佐藤未来氏→静岡へ、内村みさと氏再入会）

新伊勢 23名（小山育恵氏入れて）1名会費未納→分会費未納は認められない（分会長が交渉）

2. 本部の通常総会の提案議案について

本部の通常総会第7号議案に会費改定案がある：現在の10,000円から5,000円増となるかも？

地区懇談会（2012.3.11）報告の「役員等の報酬及び費用に関する規定」「日本助産師会必要経費」を参考。

- ・ 役員活動報酬は必要と思われるが・・・
- ・ 図書購入の予算は本当に会員に還元されているとは思えない（地方は利用しにくい）
- ・ 会館維持費用の10,000,000円は毎年必要計上しなくてもよいのではないか？
- ・ 助産師会館も地方の会員としてはあまりメリットがないと感じている。
- ・ 会員数8,600人として一人当たりの費用4,240円という試算から5,000円増と本部は提示しているが、地区理事会でも反論が多かった。
- ・ 現状から会費値上げもやむを得ないかもしていないが、一度に5000円増は高すぎる。
- ・ どうしても値上げが必要なら、増額分が会員に還元されるよう有効に工面してほしい。
値上げ限度は2000円以内ならやむをえない。 などの意見が出された。

*結論として三重県助産師会の意見は会費値上げには反対となった。（反対7人・賛成6人）

3. 次期会長選出について

立候補はなく、推薦者の快諾得られず困窮している。推薦委員から経緯の報告。

会員全員にはがきで意見を求め結果：回答数は26件（29通）

会員にはがきで意見を聞いたが決定的な意見はでなかった。

①会長職に対する会員の回答には

- ・ 大変な役職であるから、ある程度年配の方が望ましい。
- ・ 勤務をしながらできる仕事ではないでしょう
- ・ 三重県助産師会の組織・運営を解っている方・職能団体としてあるべき姿を追求できる方・後進の育成に広い使役を得る方 などの認識を会員は持っている。

②選出方法案について：110名中29名の意見

- ・ 個人名として、鈴木氏、井岡氏、加藤氏、濱地氏、宮木氏、太田氏、
- ・ 現副会長選出時に次期会長に上がることを前提として選出する。（今後の方法として）
- ・ 会長の負担軽減（職務を分担化する）副会長2名対応です。
- ・ 給与・賞与制を導入する。
- ・ みんなが順番にあたるべき。 などの意見があった。
- ・ 理事会の提案は「助産師会の特性から助産所部会からの会長選任が理想で、補佐役の副会長を2名とする。」という意見。

・助産所部会に限るべきでないという意見もあり。

③会長の対外的な仕事はどれくらいあるのか？の説明

代表者会議 4 回、医療審議会年 2 回は必須、本部通常総会、地区理事会年 4 回、地区研修会、

災害対策委員・妊婦補助券等の会議、三重母性衛生学会理事、小児保健委員会理事
各看護学校の卒業式→出席を花束贈呈に変更。

年度末や年度始めにこれらの会議出席が集中する。

論点：それぞれの立場での主張

- ・ 会長の任務は雇用契約での勤務形態だと、時間的に無理な状況なので、何かを犠牲にしてしなければならないので、できれば開業者が望ましいと思う。
- ・ 有床開業助産所長は全責任を背負って「お産」を受けている。(時間も精神的にも)
- ・ 仮に副会長が会議を代理ででていくのであれば、会長の意味があるのか疑問。
- ・ 助産師会は職能団体なので、助産所部会だけ会を担う訳だけではないと思っているが、理解されていないかと思うと残念と感じた。
- ・ 助産師魂をもっている方を中心に三重県助産師会を引っ張っていけるよう 3 人でタック組んでしてほしい。
- ・ 推薦委員は交渉を重ねてきて、再度振られても、何もできない。結論を出すしかない。
- ・ 会長を押し付ける(分会からでしてくじをひいて決めるか)
- ・ 時間がかかっても今をすり抜けても、2 年後にまた会長選出難を繰り返すのであれば、今回徹底的に話し合って結論を出すべきと考える。
- ・ 時間的に束縛されてない人はだれもいないので、助産師会の目標や目的を今一度じっくり話すべきだと思われる。

【まとめ】次期会長選出のは結論はでていない。承諾者は 0 人→4 月 30 日(月)再度検討会議をする。

・ 色々な意見がだされたが、現況の役員・委員選出方法の押し付け・輪番制なども根本的に問題あり、時間をかけてでも話し合いで結論を導き出したい。

・ 今回会員の意向調査の結果、実名の揚げられた方、同席のうえで検討会をすることになった。

4. 総会開催について (準備・役割担当など)

日時：6 月 10 日、受付 9 時 15 分から 9 時 30 から開会

場所：アスト津 4F 会議室 1

① 総会資料について

- ・ 総会資料としての各部会・委員会の決算報告書は貸借対照表なので不要。
決算後の残高は全金会計(山分さん)に返金する。
- ・ 領収書は各部会・委員会で年度毎にノートに全部貼って行ってください。
- ・ 貸借対照表では各部会や委員会が予算をどう使ったが分からないが今年度は会計士さんに従うことにする。
- ・ 領収書は返却されるので各部会・委員会で管理する。
- ・ 予算案の収入は決定しているので不要、支出は会計士さんがまとめるなら不要。
- ・ 総会資料には決算報告書、予算案の収入・支出は掲載しない。
- ・ 事業活動報告書の記名、署名、押印は不要。
- ・ 事業活動報告書・事業計画案は、5 月 10 日までにメール添付で足立まで送る。

②会場準備当日の役割分担

③総会の時間短縮のこと 活動報告は資料参照とする。

5. フレンテまつりについて：H24. 6月2日(土)・3日(日) 10:00～15:00 フレンテみえ

第1回・2回のフレンテまつり実行委員会議報告(委員長林氏)。

- ① 活動テーマは男女共同参画推進につながるもの、老若男女と一緒に育児に取り組めるような助産師ならではの企画とする。
- ② 会員全体に協力依頼をする(分会長より会員へ周知) ちらしができたら、チラシを利用し参加を呼びかける。
- ③ 当日の交通費は500円、実行委員会会議の交通費も1回一人500円。
- ④ フレンテまつりの予算30,000円欲しい。
沐浴演習、ベビーマッサージ(水本さん講師)、おもちゃ、ビデオ上映、
沐浴演習は形にならないので参加費をとるのに、おみやげ(オムツ・マンナンのサンプルなど)
- ⑤ チラシは水本さんが作成して、集客できるようにする。
何時から何をすることというチラシに明記する
母子の来客が少ないが、多くきてもらえるようにする。
- ⑥ 当日スタッフの募集(5月中旬まで)と服装
ロゴ入りTシャツ・ウインドブレーカーを作成する

6. 日本助産師会総会時の「子育て女性健康支援センターみえの活動報告 ポスターセッション依頼について」正式依頼ないので、このままで保留。

7. 会長表彰者についての検討

高齢者表彰は77歳以上で、しばらく該当者なし。

変更届・退会届も必要という意見がだされました。→ 足立作成してみます。

8. 看護フェスタ：H24. 7月7日(土) 県文：看護協会の職能委員とともに準備中。

9. その他のお知らせ(加藤会長より)

1) すくすく赤ちゃん献金

助産所マタニティハウスひまわり 鈴木照美様	3,000円
くつろか助産院 濱地祐子様	2,700円
助産院エンジェルスマイルモモ 宮木孝子様	1,000円
三重県助産師会	9,351円
合計	16,051円

2) 三重県立看護大学開学15周年記念行事のご案内

H24年5月8日(火) 13:30～16:00 招待状欠席で返信。

3) 新法人設立のお知らせが届きました。

①医療法人山本総合病院と桑名市民病院が統合して「地方独立行政法人桑名市総合医療センター」と名称を改めた。

②社団法人群馬県助産師会が「公益法人 群馬県助産師会」と名称変更。

4) 明治安田生命助産師育成支援奨学金募集に関して：該当者なし

5) 国際助産師の日のポスター届きました。→林氏に渡した。

6) 子育て女性健康支援センター運用マニュアル届きました。→浅井氏保管。

- 7) みえ出産前後からの親子支援事業実施マニュアル届きました。→加藤氏管理。
- 8) 東日本大震災地域の病院等に対する看護職員派遣就業支援についての依頼がありました。関心のある方申し出てください。
- 9) 母子保健法施行規則一部改正の資料あります。→加藤氏管理
- 10) HTV-1 母子感染対策検討会資料あります。(委員として委員会出席) →加藤氏保管
- 11) 平成24年妊婦一般健康診査及び乳幼児健康診査の実施にかかる調査議事の資料あります。
- 12) 平成24年妊婦一般健康診査委託契約締結しました。→契約書は会長保管。
1回の助成金額 2960円 → 5020円の補助にアップされた。
- 13) 四日市市と災害時における助産師による支援活動に関する協定を今年度も提携しました。
会議には浅井氏(都合悪い時は日沖氏に出席してもらう。
会議時の交通費を検討要請したが、却下されたので、三重県助産師会が持つ。

10. 教育委員会より

- 1) ポイントシールについて
- 2) H24年度研修計画について
会員にはまだ周知しないでください。
三重県助産師会研修計画案 平成24年度 支部研修一覧【三重県】別紙参照
5月の教育委員会で整えてから会員に連絡します。研修計画一覧表は総会資料に掲載する。
原則として、連絡は各部長から流す。教育委員会からは部会を中心に連絡を流す。
※ チラシは会員のみならず、会員から他の方への宣伝のために郵送しているが、その意図が会員には伝わっていない現状。
- 3) アメジストは無料で骨盤ベルトの装着方法の指導を各診療所や施設でして下さるとのこと。
必要な方はアメジストに依頼してください
- 4) 「三重大学医学部看護学科助産課程公開授業のご案内」別紙参照 多数ご参加ください。
ホームページにもトップ頁に掲載。(参加希望者は杉山泰子氏に事前連絡)。

11. 次回代表委員会開催日について

7月15日(日) 10月21日(日) 1月20日(日) 新年会時(監事は新伊勢)
最後の3月か4月かは10月に決める
次年度代議員も出席、代議員(新伊勢)を決める

12. 報告：三重県助産師会の携帯電話を導入しました。

ウイルコム 070-5408-4453電話のみ、一回10分以内無料

13. 「三重県助産師会ロゴ」決定

ロゴは5万円で業者に依頼
ウインドブレーカー、(淡い薄いピンクに黒の字ロゴ)、30枚を助産師会で作成する
ロゴ入りTシャツ10枚 を頼むが個人に販売するようにする。

助産師会ロゴ入り封筒を作成する。印刷屋に頼む(杉山さんしてください)

住所は載せず、連絡先は電話番号、差出人が記入できるようにスペースを作る。

: 薄ピンク色(長4) 5000枚、(角1) 2000枚

記録：常務理事足立裕子